

災害時の歯科需要について

災害時の歯科需要

1995. 1. 21～2. 4 大阪歯科大学 西川ほか
 避難場所 東灘区 8ヶ所
 避難人口 延べ 15,630人

避難所における 歯科疾患の初期調査

- 歯科的な訴え (有訴率)

283人 / 15630人

= 1.8% (災害時歯科需要)

(1日に歯科を受診する患者
 130万人 / 全人口12380万人 =
1.05%・・・日本の歯科需要)

災害時に歯科需要は増加する

症状等	期 間		小 計
	1 / 21～1 / 22	1 / 28～2 / 4	
歯髄炎・歯周病 などの歯の痛み	33	39	72 (25.4%)
粘膜炎	41	43	84 (29.7%)
義歯紛失・破損 脱離	31	9	40 (14.1%)
親知らず・歯肉 の腫れ	7	8	15 (5.3%)
その他 (相談を含む)	27	45	72 (25.4%)
合 計	139	144	283 (100.0%)

歯科診療需要 : 283 / 15,630 (1.8%)

避難人口に対する歯科需要 (1月29日現在)

$270,000 \times 0.018 \approx 4,800$ 人

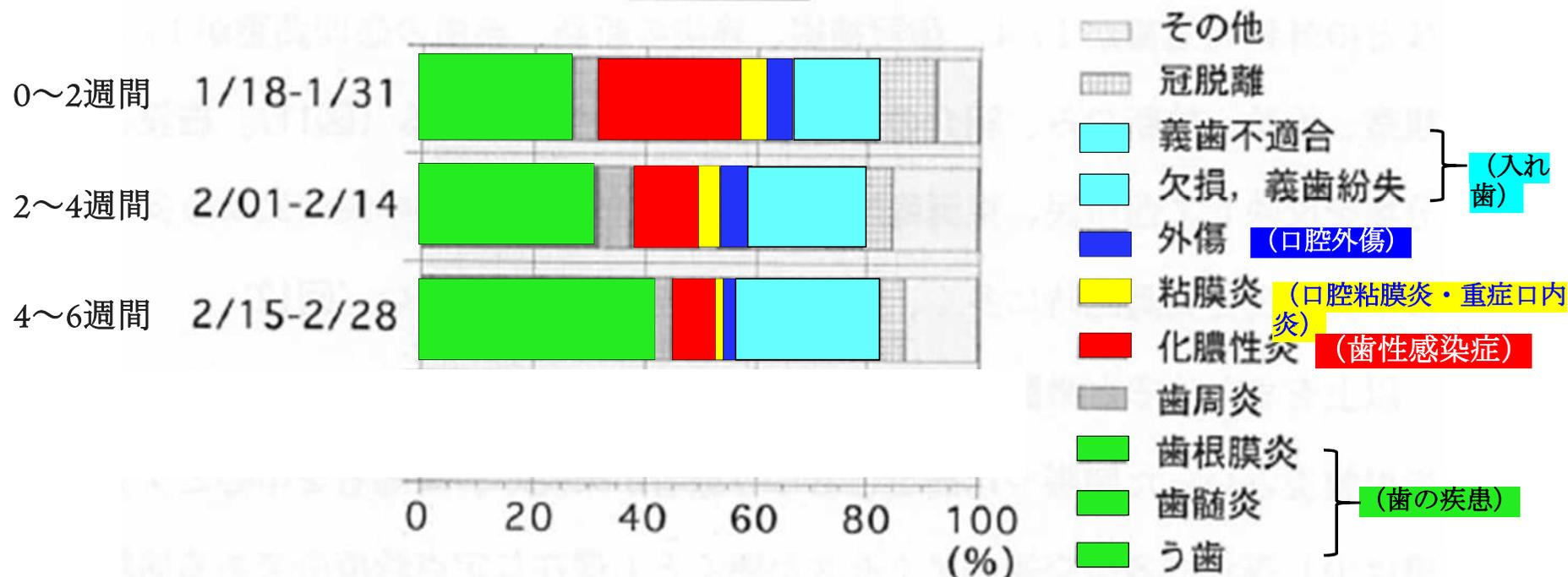
西川哲成・大阪歯科大学口腔病理学講座講師 (当時) 報告

阪神・淡路大震災における歯科疾患の経時的推移

● 市民病院歯科受診患者 (n=992)

(中央市民, 西市民, 東灘臨時)

計992人



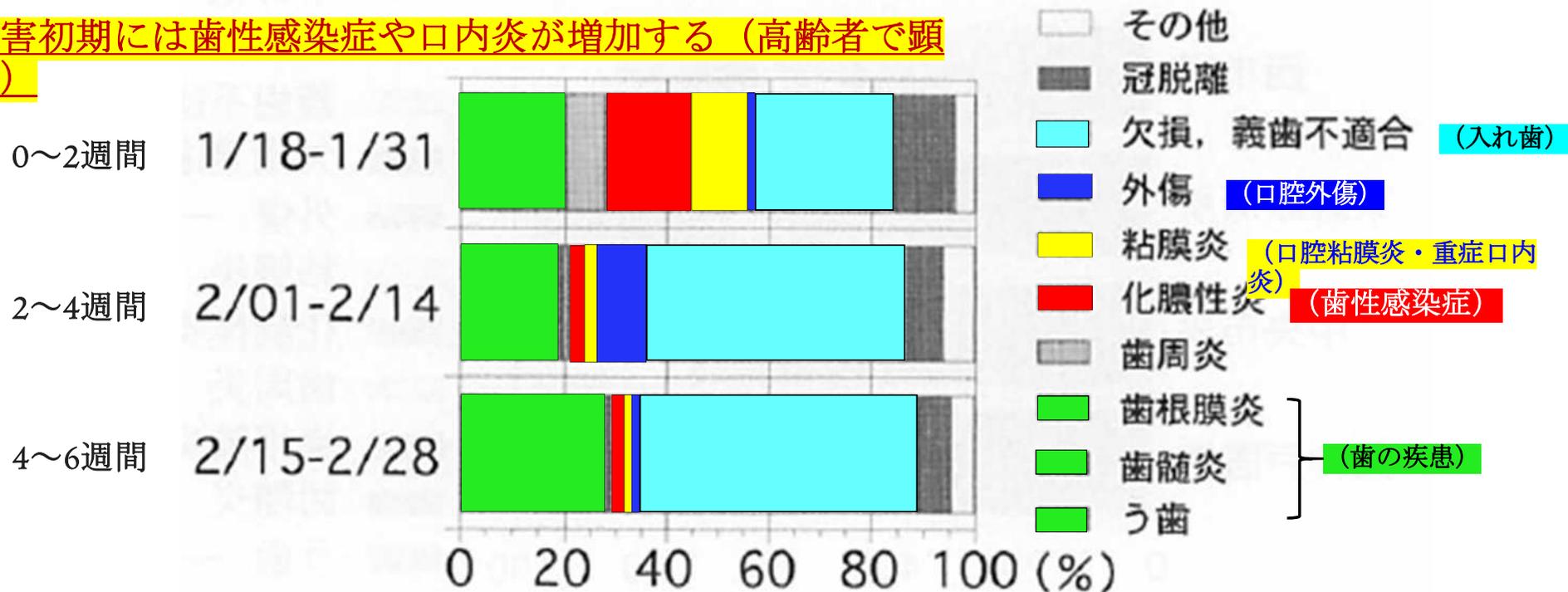
阪神淡路大震災と歯科医療：兵庫県病院歯科医会編，1996，神戸。

阪神・淡路大震災における歯科疾患の経時的推移：高齡者

- 市民病院歯科受診患者（65歳以上 n=251）

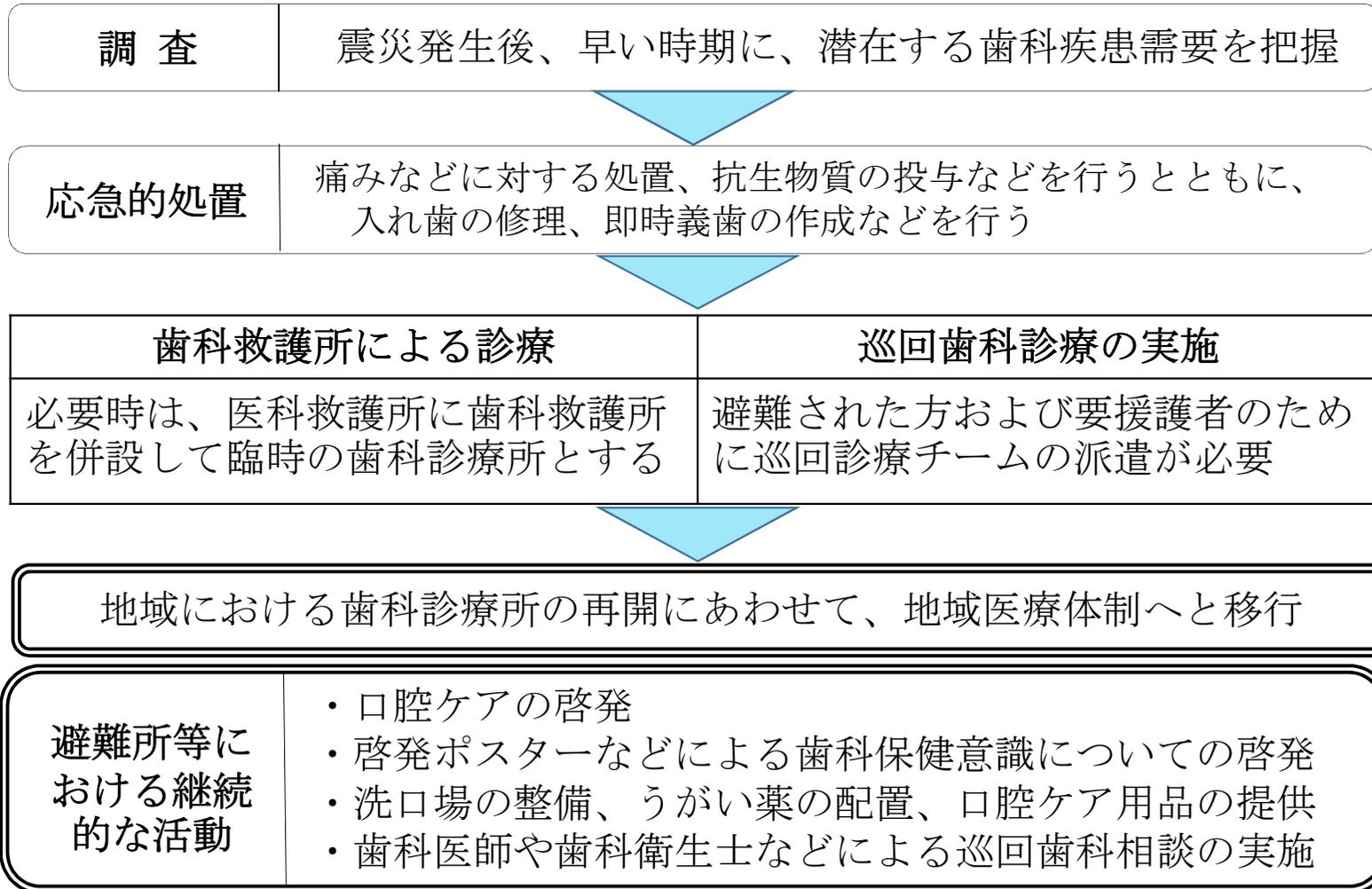
（中央市民，西市民，東灘臨時 1/18-2/28 計251人）

災害初期には菌性感染症や口内炎が増加する（高齡者で顕著）



阪神淡路大震災と歯科医療：兵庫県病院歯科医会編，1996，神戸。

神戸市における災害時の歯科救護活動の流れ



2026.3.11. 神戸市保健所口腔保健支援センター